

新型コロナウイルス感染 防止について

～基本に立ち返る～



校長：挽地裕之

生徒のみなさん、今日はみなさんにお願ひがあります。それは、新型コロナウイルス感染防止についてのお願いになります。

- ①三密を避け、マスクを着用して手洗い励行すること。
- ②感染リスクの高い食事の時は会話を避けること。
- ③授業ばかりではなく、登下校・部活動等も含めて感染防止を意識すること。
- ④自分も無症状のままウィルスを拡散させているのではないか…という自覚を

全国的に広がっている新型コロナウイルスは、首都圏を中心に緊急事態宣言後も高い水準で推移して、医療機関はひっ迫している状態です。入院が間に合わず自宅療養者が死亡する事案も起きています。

宮城県においても日を追うごとに増加し、県立学校においてもクラスターが発生したと報道があったことはご存じのとおりです。そのため、感染防止の観点から県教育委員会からの通知をもとに「練習試合等の自粛」を過日、顧問の先生方を通してお願いしたところ

一番大切なことは、これ以上感染者を増やさないことです。増やさないために4つのお願いをあげたわけですが、そして最後に⑤はコロナ差別はやめようということです。コロナが人を差別するのではなく、人が人を差別しているのです。

【①三密を避け、マスクを着用して手洗い励行】

若年層は比較的症状が軽微であるため、罹っていても風邪のような症状で終わってしまい、知らず知らずに他人にうつしているとの指摘があります。高齢者が罹患すると重篤化することは、すでに知られているとおりです。感染防止は、社会生活のマナーであるばかりではなく、「いのちを守る行為」であることを

若い人がウィルスを無意識に運んでしまっている!!

自覚して、三密(密集・密閉・密接)を避けてマスクを着用し、こまめに「手洗い」を励行してください。

後遺症に悩んでいる若年層も多数存在するという話もありますから、「かからない」ような努力が、いま一番求められています。気を引き締めていこう。

【②食事の時は会話を避けること。】

マスクを外しての食事の場面が感染リスクが高いと言われていています。給食のある小中学校では一斉指導ができますが、高等学校は皆さん一人ひとりの自覚と責任に任されています。ぜひ、自覚と緊張感を持って会話をせずに食事をし、会話の時は必ずマスクを着用してください。これは学校ばかりではなく、それ以外の場所でも同様です。

【③登下校・部活動等も含めて意識すること。】

マスクをせずに会話をしている高校生に対して、県民の皆さんは不安を抱いています。電車やバス等の公共交通機関を利用して登下校している諸君は、社会の一員であることを忘れずに行動してください。

【④無症状でもウィルスを拡散するという自覚を】

新型コロナウイルスの怖さは、個人差が著しい点にあります。無症状の人もいれば重篤化する人もいます。後遺症に苦しむ人もいれば、残念ながら死亡する人もいます。あなたの大切な人に感染させないように、できる限りの対策に取り組んでください。

そして最後に、今回の「コロナ禍」はどんなに予防しても感染のリスクを0にすることはできません。罹患してしまった人を、差別することは人として決してやってはいけないことです。新型コロナウイルスを恐れるあまり、罹患した人まで恐れることはやめよう。恐怖心は人の心を鬼にする。人間はある意味、それほどまでに弱いのです。だからこそ、他人を追い込んでしまう自分の心に打ち克とう。

⑤コロナ差別をやめよう!!

いろいろと耳に痛い指摘もありましたが、謙虚に内省して誤解を受ける行動をしないようお互いに努めましょう。よろしく願ひします。(2021.01.25)